

●和知野川キャンプ場
 九月の状況…昨年九月は、二回の連休と台風襲来が重なり、営業休止したため、売上が極端に少なくなりました。今年度は、夏のような暑さが九月も続いたため、週末を中心に多くのお客様に来ていただきました。ありがとうございます。売店も相乗効果で売上が伸びました。

9月 売上比較	2023年 売上	2022年 売上	2023年 来場者	2022年 来場者
総売上合計	80.2万	32.5万	—	—
キャンプ場 売上合計	52.8万	28.2万	699	293
キャンプ宿泊	38.3万	17.3万	482	201
コテージ宿泊	11.6万	9.4万	53	43
デイキャンプ	1.3万	0.5万	70	28
無料川遊び	0	0	94	21
温水シャワー	1.6万	1万	—	—
売店カフェ 売上合計	27.4万	4.3万	277	65
売店	14.4万	4.3万	—	—
ワチカフェ	13万	営業無	—	—

●釣り

十月の入り、漁協のあまご放流のお手伝いをさせていただきました。来年が楽しみです。

■ワチカフェ

キャンプ場でのお楽しみイベントです。焚火や薪割りや美味しいモノの出店。お待ちしております。日時…十月二十八日土曜日十一時〜十六時 詳細は、十月十二日の回覧をご覧ください。

■和知野川キャンプ場 営業中

売店…毎週土曜日十時〜十七時
 ワチカフェ…毎週土曜日十三時〜十七時
 モーニング…毎週日曜日七時〜十時
 ※天龍村生活支援商品券使えます！

●松川携帯



キャンプ場のインスタグラム
 フォロワー1000人達成しました！
 最新情報はコチラからご確認ください



ありが隊新聞

令和5年
 10月26日
 第126号
 編集 大石航平

十月の活動内容

十月に入り、朝晩が冷える季節となりました。自身の活動としましては、先月に引き続き天龍村の歴史書籍の制作に向けた原稿の作成を行いました。

共同体とは何か

近世から近代にかけての村落を考えると重要になってくるキーワードが「共同体」です。共同体は人間が人間らしく生きるための条件です。しかし共同体といわれても、あいまいなイメージしか沸きません。そこでヒントになるのが、大塚久雄が著述した「共同体の基礎理論」です。この本で大塚久雄は共同体について次のように書いています。

「共同体は、それを構成する労働諸主体に即して言えば、私的諸個人相互のあいだのゲゼルシャフト的関係を共同態すなわちゲマインシャフト的関係の外枠（共同組織）の中に包み込み、

共同体が解体する時

近代に入ると、近世村落にあった共同体としての側面が失われていきます。その原因を考えると大塚久雄に登場してもらいます。大塚久雄は「共同体解体の基礎的条件」の中で、共同体解体の原因を次のようにとらえています。

「生産諸力の発展が一定の割合をこえて進行しはじめるや否や、この『固有の二元性』はほとんどは正に逆に、共同態の二側

◆みんなでもやまの会
 9月20日に行いました「お話しながら手作業」も和氣あいあいとお話しながら、普段出会えない方とも良い交流の場になりました。また、この日だけでは仕上げられない方もいたので急遽26日にも追加の会を開き、このような会は何度か開催できたらこの日来れなかつたけど、この日は行けた！みたいに喜ばれることもわかりました。また企画いたします。

◆「おきよめの神の物語」公演
 東京公演に続き、諏訪の片倉館にて3月24日に公演を行う予定で準備を進めています。来年には村での公演も実現したいと思っています。



◆WACHI CAFE
 10月からパンケーキが始まりました。メニューも変わり薪ストーブにも火が入ります。ゆっくりしにいらつしやいませんか？10月28日のワチカフェでは特別メニューも提供します。カフェ利用だけでもぜひお越しください。

おそうじ道 ⑩ 掃除機の掃除のススメ

- 私たちの身の回りを清潔に保つてくれる掃除機。掃除機をかけるのと部屋は綺麗になりますが、掃除機の汚れはそのままにしておいていませんか？
- 掃除機内のゴミが溜まっていると吸引力が落ちることはよく知られていますが、フィルタや吸い込み口などにホコリが溜まっていると同じです。余分な消費電力がかからなくなるため、経済面でもメリットがあるといえます。今回は、掃除機の掃除方法を紹介します。
 - コンセントを抜く
 - 掃除機に溜まったゴミを取り除く
 - 吸い込み口に付着しているゴミを取り除き、ホコリを拭き取る
 - 回転ブラシに絡まった髪の毛は、ハサミなどでカットして丁寧に取り除く
 - 丸洗い可能な回転ブラシは、取り外して水洗いをし、乾かす
 - フィルタはデリケートな素材なので、強くこすらず優しく洗いまししょう。
 - ゴミ受け内部を水拭きしたあと、アルコール除菌スプレーを吹き付け乾拭き
 - 本体外側やホース、接続部分のホコリや手垢を、水で濡らしてかたく絞った雑巾で拭き取る
 - 半日ほどそのまま乾燥させ、内部やフィルタがしっかりと乾いたことを確認し、元に戻す



面すなわち共同態的（ゲマインシャフト的）関係の側面と私的（ゲゼルシャフト的）関係の側面とを互いに乖離させ、一方の、発展しつつある生産諸力の担い手たる共同体諸成員の経済利害と、他方の、彼らの私的活動を特定の枠の中にはめこみつつけようとする従来からの共同態規制と、両者のあいだに救いがたい亀裂を生ぜしめるような方向に作用することになる。

わがかりやすく解釈すると、共同体には二つの側面があると言っています。それが、共同態的（ゲマインシャフト的）関係の側面と、私的（ゲゼルシャフト的）関係の側面です。これが共同体に内在している「固有の二元性」です。

生産諸力の発展とは、生産する力が発展することです。資源に労働力や生産設備などの生産力を加えて資産を生産します。生産力の発展によって、十分な資産を生産することができると言えます。これが産業革命です。

余剰した資産は富になり、富を資本に転化して資源の獲得や資産の生産を行うのが資本制です。

そして私的活動が富の拡大を志向するとき、共同態的（ゲマインシャフト的）関係の側面と対立します。対立が決定的になったとき共同体は崩壊すると書かれています。

対立する理由は、資源の獲得や資産の生産の前提にあった財産が必要ではなくなったからです。財産の代わりに資本がその役割を果たし、私的活動に財産ではなく資本が活用されるようになります。人間は自然との関係や、自己と他者との関係といった財産を考慮することを免れていきます。しかし、人間が人間を条件付けている財産を手放したとき、果たして人間らしく生きることができのでしょうか。（次号につづく）



篠田 大樹
 前川 未来
 松川 友哉
 大石 航平
 加藤 真由美
 小幡 厚子
 望月 ひとみ

九月下旬から急に涼しくなり、ていぎなすの成長も大分落ち着つてきました。ただまだまだ元気なので十一月までしっかり獲れるように管理に気をつけたいと思います。

お茶は九月頭に紅茶用の摘採(収穫)が終わって以降は草取り、草刈りに追われています。あっという間に伸びる雑草の生命力にはいつも驚かされます。そのような中、これから(十月中旬)肥料撒きや、製枝も始まり、十月中には作業が落ち着くかと思えます。

青ゆずの収穫も行い、これまで百キログラムほど獲れています。凶作だった去年よりは多くの実が付いているのではないかと思います。

イベントのお知らせ



皆様ぜひお出かけください!

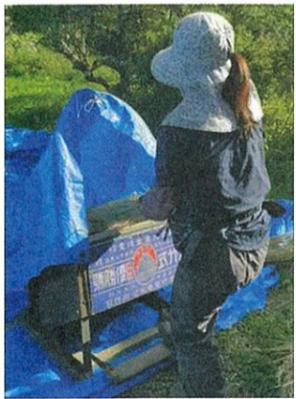
日時: 十一月五日 十時十五分
会場: 道の駅遠山郷 駐車場 (かぐらの湯) 駐車場
出演団体 (天龍村) 浄心太鼓、Ryu's
出店団体 (天龍村) MPO 法人 ツメモガキ
シンフォニー Jazz Band



天龍村きりんちゃん月記 小幡厚子(季輪)
真夏の暑さから一気に気温が下がり、日毎に山の木々の色が変わる今日この頃ですが、ピオトープ田んぼの稲刈りや、エゴマの刈り取り、もち米の脱穀や、ちよと気を抜くと草ぼうぼうになる畑やブルーベリー畑の終りのない草刈り等々に、息つく暇もない毎日が続いていましたが、どうにか自分なりのペースを取り戻してきました。

今年、不耕起栽培に挑戦したピオトープ田んぼでの稲作もイネドロイムシやいもち病の発生もありましたが、雑草が思いのほか少なく、稲の生育もまずまずで、先日、精米した新米で松茸ご飯を炊いて収穫を祝うことが出来ました。
稲刈りが終わった田んぼは、水草が一面を覆い、イトミミズも観察でき、理想的な状態になってきています。冬季灌水を今年も続けて、来年夏のヘイケボタルの発生数を楽しみにこれからも管理して行きたいと思えます。

そして、今年も天龍中学校の林業体験(製材体験)のサポートをさせて頂きました。丸太の板に引くことで、木の価値は大きく変わると話を聞かせて頂き、天龍村のような急傾斜地では木を山から切り出すこと自体が簡単な事ではありませんが、いまある村の製材機をもっと活用して、村の中でもっと村の木を活用していく機会を増やしていく事を考えていきたいとあらためて思いました。



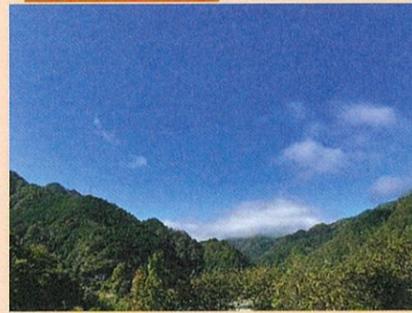
足踏み脱穀機で脱穀中



野生的なピオトープ田んぼ

朝晩の冷え込みが一層強くなり、秋の気配をどこどころで色濃く感じられるようになりました。山も少しずつ色付き、秋の空気になってきたように感じます。急な気候の変化で、体調を崩しやすいので気をつけて過ごしたいですね。

ある日の秋晴れ



ふと気が付けば、協力隊としての任期も残すところあと半年をきり、時の流れの早さを改めて実感しています。
今年度九月までの上半期、ガレージセルや和知野川キャンプ場 WACHI CAFEの手伝いなどで村外から村に訪れる方々とふれあう機会が多くありました。天龍村には初めて来たという方もいれば、毎月のように来るよというキャンプ場の常連さんなどさまざま、お住まいの地域もさまざまですが、お話をしているなかで皆さんが村で過ごす時間を楽しんでくださっていることが伝わってきて嬉しい気持ちになりました。

初めて村を知った時の感覚を改めて思い出したと同時に、『天龍村』を県内外問わずもっともっと多くの方に知ってもらえるような機会があるといいなと思いをしました。

おまけ ばなし ガレージセルを訪れていたとある夫婦のお話し

今までシンプルなものが好きで、食器も若い頃から使っていたシンプルなデザインのものずっと愛用していた夫婦。
「天龍村ガレージセルに偶然訪れ、持って帰った食器。早速それに盛り付けをし食卓に並べたところびっくりするくらい華やかになって、なんだか飯がすごく楽しくなった。村も素敵なお話で、またいろいろ季節に遊びに来たいなあ...」
ということをおっしゃってくださいました。ガレージセルを喜んでいただいていたことですが、きっかけは何であれ天龍村に興味を持っていただき、また来たい!と語っていただけたことがとても嬉しかったです。天龍村と様々な人とがどんどんつながって、ますます賑やかに、活気のある村になっていったらいいなと思います。

モチの天龍やんやんやん

文 望月ひとみ

●ていぎなす栽培、最近の所感

今月も順調に出荷できています。秋になり、畑管理にかける時間がだいぶ減り、その分、雑穀の収穫など他の農作業や和知野川キャンプ場の業務、そして休息の時間をとれています。各地区の秋祭りもにぎやかに。花火も素晴らしい。(ギリギリサーフで雨が本降りにならず、開催判断も素晴らしかったです)、祭りの雰囲気を楽しみました。ありがとうございました。

ていぎなす収穫ツアーで提供予定の料理試作&試食



組合員平松さん板倉さんのアイデアすべて美味しかったです

祭りごとは大変な時間と労力のかかるものと察します。その充実した良い祭りにするためには、多くの人が無理のない形で関わられたらと思いますし、実際、私のような移住者でも寛大に受け入れてくださり、本当にありがたいことだと感じます。みなさまお疲れさまでした。
先日開催された知事との対話では「高齢化社会のモデル自治体となるために」とのテーマ。人口減はやむを得ないとして、ポジティブに次世代へと受け継げるやり方で文化をつないでいくことが天龍村では出来るのではないかと、参加者の意見に共感しつつも常にどういふ地域に生きたいかを問うて暮らさねば実現はできないとも思っています。(続きはどこかで)

ていぎなす組合のみなさんと (WACHIFES宣伝用で撮影)



毎朝元気をありがとうございます!

●天龍村名物ていぎなす第一弾「ていぎなす」好評発売中

村内各店にて望月直接小売りも致します。



文・前川 未来



秋のいい香り*